

5 のうりんすいさんぎょう 新しい農林水産業の取り組み

(1) 農林漁業ぎよの6次産業化か

～いろいろな分野ぶんやに挑戦ちょうせんする生産者せいさんたち～

畑やさいで野菜くだものや果物をつくったり、牛や豚を育てるなど、おいしい食材を生産している人たち。また、日本海でいろいろな魚をとっている人たち。中にはそれだけではなく、自分たちで直接ばいはん売したり、食材しょくざいに手を加えて加工食品くわにしたり、食材ちようりを調理りようりして料理ていきようを提供したりする「6次産業化」にチャレンジする人たちがふ増えています。

とれたての新鮮しんせんな野菜や魚をはん売する直売所。自分たちのつくった野菜や果物のおいしさをそん存分に引き出したスイーツやジュースなどの加工食品しゆん。旬の食材やその土地ならではの調理法が楽しめる農家レストラン。

県内にはこのような人のアイデアまん満さいの商品しょうひんやお店がたくさんあります。みなさんもぜひ探さがしてみてくださいね！

「6次産業」って何？

農林漁業（1次産業）に加えて、加工（2次産業）、販売（3次産業）に取り組むこと。

「1次×2次×3次＝6次」となることから、「6次産業」と名付けられました。



県内の6次産業化事例 じれい



大江ノ郷自然牧場 さとしぜん やず (八頭町)

にわとりを しいく飼育して、その卵を使ったスイーツを楽しめるカフェを営業しています。



(株)アグリネット ことうら 琴浦 (琴浦町)

さいばいしたブルーベリーを こうちゃ紅茶にしています。



おおた農園 よなご (米子市)

イチゴや米を生産し、米粉ジェラートやいちご だいふく大福などにしています。



ゆみがはま 弓ヶ浜水産(株) さかいみなと (境港市)

りくじょうようしょく陸上養殖と海洋養殖で大きく育て、水揚げからずばやくパック詰めする工夫 くふうで新鮮なサーモンを出荷しています。